

令和6年度（2024年度）第4回熊本市教科用図書選定委員会

議事録

委員長	<p>議案 中学校教科書採択について協議します。</p> <p>本日は、美術・技術・家庭科（家庭分野）、社会（地理的分野）、社会（公民的分野）の4種目の教科書についての報告を受け、協議します。</p> <p>それでは、「美術」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《美術 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入ります。質問、意見を出してください。お願いします。</p>
委員	<p>教科書の冊数、構成についてですが、開隆堂が1年生と2・3年生、2冊、光村が開隆堂と同じで、あとそれに資料集が入っています。日本文教出版は1年と、2・3年の上下という構成になっていて、この構成について、授業をされるにあたり、何かメリット等があるのかどうか。各社の考えがあると思いますが、特に光村は資料集、資料を別冊にして3年間使えるということになっているということ。先ほど二次元コードの数は光村が圧倒的に多いということもあって、その中身も含めてどんなふうにつえられたのかということをお話していただければと思います。</p>
研究員代表	<p>まず、冊数の件についてですが、日文は、昔から3冊にこだわりがあります。1年生、2年生、3年生、その学年に適した内容というのに着目されて、日文はいつも3冊別冊で作られています。現在、熊本市内で使っているのは日文です。ここについて、特に現場で何か起こるということはないようです。重くなるのではないかとかもありましたが、現在、中学校の美術の教科書は大体学校に置いて帰るような形を取っており、特に問題はないかと思っています。</p> <p>開隆堂と光村に関しては学年1冊ずつで、1年生と2・3年生というふうに分けてありますが、光村が、以前はこの資料みたいなのは教科書の中に入れておりましたが、今回は別にされています。別にすることで、1年生とかにとじ込んでしまうと、1年生の教科書は1年生が終わったときには、もう家に直し込んでしまったりして、こういういい資料があるというのを忘れてしまうことがあります。今回、研究員と話をしている、この資料だけは3年間ずっと使うから、学校にずっと置かせておくといいよねという話題になったところです。</p> <p>二次元コードの数の違いについて報告します。数が違ったので、何が違うのだろうともう少し詳しく見たところ、生徒作品の収録数に大きな違いがありました。光村図書は約900点、生徒作品を二次元コードから参照することができるようになっています。ただ、そのことが、数が多いのいいとか、少ないの悪いとかについては、昨年度の小学校採択のときにも話があったかと思いますが、参考作品として有効かどうかという基準で判断すべきということで、今回私たちも見させていただきました。どこの教科書会社も生徒</p>

<p>委員長</p>	<p>作品は参考作品として有効であると評価をしています。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>ということは、二次元コードについては、光村が圧倒的に生徒作品を多く入れているということは、評価できるということにつながるということでしょうか。</p> <p>私たちが授業をするときにも、できるだけやっぱりたくさん作品を子供達に提示したいなと思うときがあります。反対の場合もあります。見せたくないなど。子供達が、まずいろんなものに影響を受けずに自分の発想でという題材のときもあるので、そこは授業者の使い方によると思います。子供達はもう二次元コードがあることで勝手に見てしまうということもあると思っています。</p> <p>その他の鑑賞学習をするときのコンテンツの内容は、開隆堂、光村、日文それぞれ特徴がありました。開隆堂には振り返りシートが入っており、若い先生たち、まだ授業経験が浅い先生たちが使うには、こういう内容もいいという意見が出ました。光村については、美術の教育として、例えば「最後の晩餐」で人物がたくさん描かれています。この人物がどんなことを今考えているとか、喋っているとか、そういったものを書き込みができるようなツールがついていて、こういうツールがあると大変便利だなという評価がありました。日文については、3Dで人物のデッサンのアプリみたいなものがありました。そういう特徴がありました。</p>
<p>委員長</p>	<p>3社ともそれぞれの特徴がありますが、かなり優れたものが用意されているというふうに理解してよろしいですか。</p> <p>他に何かご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>1点だけお尋ねしたいのが、観点2の①の評価、○とか◎の評価だったと思いますが、調査報告書の調査結果の要旨を見比べてみました。光村と日文の記載で、観点2の①で自己のキャリア形成の方向性云々という表現がありますが、日文はキャリア形成の視点を見据えて云々と評価されている記載がありますが、光村はその記載がありません。実際どういった点でキャリア形成の視点を評価して、こういう評価になったのかというのを、具体例を挙げて教えていただければと思います。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>観点2の①の学ぶことに興味・関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら見通しを持って粘り強くというところですが、光村の魅力的なところは、鑑賞の学習の分野、要するに子供達が対話しながら、自分はこう考える、同じ作品を見ている隣の子はこう考えるという意見を交わしながら、自分の考えをどんどん広げていったり、深めていったり、そういった学習をするのに非常によく工夫をされているところがあります。そして、単元のつながりが非常によく配慮されています。教科書の内容が次の題材につながっていく、前学習の学びを生かしながら次の題材というところで、自分の考え方、表現に対する意欲、関心ということが関連づけられていく工夫がしてあると思います。</p> <p>他の2社に関しても、もちろん工夫はしてありますが、こちらの調査報告書の中には、光村図書はキャリア形成のことについては表面的に表現はしていませんが、単元のつながりでの評価をしているところです。</p>

委員	<p>分かりました。その書き方を工夫していただくと分かりやすいと思いました。</p>
委員長	<p>今のご意見は、観点2の①「主体的な学び」の箇所だと思いますが、「学ぶことに興味・関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら」という「キャリア形成」という箇所が、光村については調査報告書の文章の中には出てきていないということですね。ただ、今のご説明では、光村は、直接的には表現されていないけれど非常に配慮がされているということですね。他の2社も工夫が必要になっているという、そういうお答えでよろしいですか。</p> <p>他に何かありませんか。</p>
委員	<p>今ちょうど、調査結果のところが出ているので、これに関してお聞きしたいのですが、3社とも非常に拮抗している状態だなというふうに思います。その中で、黄色のところについては説明を受けて理解をしましたが、黄色がっていない観点2の③のところ、それから観点3の「補充的・発展的な学習」、それから観点4の「勤労観と職業観」について、それぞれ◎のところと○のところがあり差が見えますが、この差について把握されているところを教えてくださいと思います。</p>
研究員代表	<p>今、画面の方に出してもらっていますが、観点2の③「深い学び」のところになりますが、現在出ているのが開隆堂になりますが、開隆堂は、一つの題材に関して、構成の美しさということで、文様につながる学習のところです。まずは鑑賞、様々な身の回りにあるもの、文様と柄物に関しての鑑賞を行って、自ら制作をしていく。そして、制作をした後にまた鑑賞をしてみるという、鑑賞、それから表現、鑑賞という学習を通して学びを深めていく工夫がしてあります。</p> <p>光村に関しても同じような方法で、まずは鑑賞、その後に表現、さらにまた鑑賞ということで、光村も学びが深まる配慮をしてあると思っています。</p> <p>日文に関しては、鑑賞と表現まではつながりとしてはしてありますが、その後の鑑賞というところまでは至っておらず、日文に関しては、他社に比べると少しだけ物足りないということから、観点2に③に関しては日文だけ○という評価をしています。</p> <p>観点3の「補充的・発展的な学習」に関する私たちの調査の見方に関しては、特に光村にあった資料、いわゆる表現をする上で子供達がいろんな表現のヒントを知りたいというときに、こんな表現方法があるんだよというのが各教科書とも掲載はされていますが、一番充実しているのは光村で、別冊になっていることは非常に大きいと思っています。他社については教科書の最後の方に、特に1年生は見比べやすいかと思いますが、終わりの方に、子供達がいろんな表現をするときの参考となるものが掲載されているわけですが、日文も結構詳しく掲載されています。道具の使い方、色に関することとか結構詳しく書いてありますが、これについて、開隆堂は少しばかり物足りないところがあります。開隆堂はとて大きくて見やすく掲載してありますが、ちょっと物足りなさを感じるなど。この点で、開隆堂の方は○という評価をつけています。</p> <p>観点4の「勤労観・職業観」のことにに関してですが、開隆堂と日文は、美術に関わる仕事をされている方の掲載がかなりされており、美術以外でも、世の中にあるいろんな仕事と美術の力というのがとリンクしていることを、</p>

	<p>開隆堂であれば、2・3年生の120頁辺りに掲載されています。それから日文に関しては、2・3年の下の最初の方に所ジョージさんが載っています。社会の中でいろんなお仕事があって、その人の考え方、そういったのが美術と深く関わりがあるということ、この2社についてはかなり掲載がされています。光村に関しては、題材を通しながら、例えば和菓子を作ってみよう、季節感のある暮らしとか、和菓子のお仕事とか防災のお仕事とかと関連付けるところで、あえて勤労・職業ということに関してまとめて掲載してある場面はないものだから、〇と考えました。それでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>丁寧に説明いただきました。</p>
委員長	<p>それでは、今のところですが、他は全部◎ですが、3社とも非常に充実していたということよろしいですか。</p> <p>他に何かないでしょうか。</p>
委員	<p>子供の意見の中で、結構、開隆堂の方がやる気がアップする、つい手に取りたくなるとか、芸術を感じたとか、そういう表現がありますが、そのあたりはどう受け止められているのでしょうか。</p>
研究員代表	<p>まずは表紙だと思います。この凸凹感のある、手触りのある、この表紙が子供達にはとても好評を得ているのだらうと思いますし、中身も、非常に作品が鮮やかな色、そして大きく掲載されている教科書ですので、そういったところが子供達の興味・関心を高くさせる意見と感じています。</p>
委員	<p>学習していく、美術の授業を進めていく上ではあまり関係ないと。</p>
研究員代表	<p>3社ともとてもいい教科書です。初めて教科書を見る、触るというところで、開隆堂が子供達にはとても印象深かったのだらうと思います。中身的にはどの会社もいい構成をしてあると感じています。</p>
委員	<p>使用する上で、やはり一番目は。</p>
研究員代表	<p>専門的に考えて、見ていくと、光村の教科書、実は熊本市ではもう大分使っていないのですが、今回とてもよく改訂されて、いい教科書になっているという印象を受けています。日文については、今使っているのは日文だから、変わらないという感じです。開隆堂に対しては、生徒の意見もそうです。あまり経験のない先生方にとってはとても使いやすい教科書という印象を受けました。</p>
委員	<p>私の方から1点。観点2の②の「対話的な学び」についてですが、この項目の重要度をとても痛感しています。その中で今日、鑑賞の教材「風神雷神」と「ゲルニカ」を本当にいいご説明をいただいて、私も光村の教科書のいろんな言葉が書いていない、解説がしていないというのが非常に大事なことでないかと思いました。その後から学べるようにガイダンスでは書いてあるので、授業者にとっては、いろいろ書いていないということは非常に魅力で、それによって対話を促せるのではないかといいところはご説明を聞いてとても納得したところです。その上でですが、鑑賞以外の分野で、例えば対話を促す仕組みというのは、光村以外の会社も含めていかがだったのか、教えて</p>

<p>研究員代表</p>	<p>いただければと思います。</p> <p>鑑賞以外の表現をするという場面でも、そういう領域においても、どの会社も結局、発想、構想とかをする段階で、子供達同士でどんなものを描こうとか、どんな色を使おうとか、そういった対話が生まれるような記載もしてあります。子供達が自分だけで考えるということもありますが、対話をしながら自分の構想を固めていく、そういうつながりになるように、3社ともしてあると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>鑑賞以外では、そんなに差はないということによろしいでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>はい、3社とも変わりはありません。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>私も1点、光村の場合「人権」のところの最後のところに書かれている肖像権とか著作権に関して非常に高く評価されています。今後、生徒さんもしっかりと著作権とか肖像権については学ぶ必要があると思いますが、具体的にはどのようなところがいいのでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>肖像権、著作権は、美術の教科書を作る会社はどの会社もとても気を遣っているところではありますが、別冊の資料の方にも、ずっと黄色い枠囲みで書いてある部分、例えばこの資料の22頁の一番下に広く枠囲みで肖像権、著作権について、目立つような形で書いてあります。子供達に示しているというところがあります。もちろん別の会社にも、特に写真とか映像を制作する、そういった題材のところにもこのような注意書きがあります。光村のところにもこれを書かせていただいています。あと光村は、情報モラルについては二次元コードで読み込んで、その中でもまたきちんと出てきていたものですから、特筆すべきだということで、こちらの方に書いています。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では、子供達にタブレットを一人1台配備されているところですが、美術というと、タブレットの活用が気になる場所です。先ほど説明では光村がコンテンツの数が多いと話があったところですが、実際にこういったことに活用しているとか、実情をお聞かせいただけるとありがたいです。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>こちら赤枠しているところが、美術科におけるタブレットの活用場面を表にしています。他の教科も、名前は伏せてありますが、棒グラフが並んでいますが、こちらについては他の教科ということです。</p> <p>美術の中では、もちろん作品鑑賞をするときの場面で使ったり、教科書の中にもたくさん出てきましたが、アニメーションづくりをしたり、あるいはアイデアスケッチを行ったり、あるいは実際、鉛筆でスケッチしたものに絵の具をつけ始めると、やっぱりこの色じゃなかったというときに塗り直しに時間がかかったりします。タブレット上で色をつけて、そして完成の予想図の見通しを持った状態で実際に作品に色付けを、紙の作品に色付けをしていくということに利用するなど、いろんな場面で活用しています。今思いつくところではそういったところです。よろしくお願ひします。</p>

委員長	<p>それでは、調査の報告ありがとうございました。 研究員の方はご退室をお願いします。 それでは、まとめをいたします。調査報告の内容は妥当であるということ でよろしいでしょうか。 これで、「美術」についての協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「家庭」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究員記録員	<p>《家庭 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、ご質問やご意見をお出してください。</p>
委員	<p>すごく内容がたくさんあって、実際そのあたりどういうものがフォローさ れていくのかなと思いました。振り返りというところに書き込む欄もありま すが、ノートという形で使う授業の展開なのか、教科書1冊でいろんな評価 が書いてあるのでやっていくのか、この厚さと内容で、また展開が違ってく るのかなと思います。その辺を教えていただければと思います。</p>
研究員代表	<p>別にペーパーノート、家庭科の教諭で作っているものがありますので、そ ちらと併用しながらやっているところではあります。ただノートの構成とい うのも、この教科書に沿ってワーク的に一問一答になっているところもあ りますし、この教科書の中できちんと振り返りをする場面とか、パフマンス課 題のように文字できちんと書く場面とかが設定されていますので、これら を併用しながら使うことによって、子供達の学びも深まると感じています。</p>
委員長	<p>他はどうですか。</p>
委員	<p>1点だけ。観点5の「公共の精神」のところで、3社とも○の評価がついて います。ただ、調査報告書を見ると、書き方に非常に差があって、とても配 慮されているという表現と普通に配慮されているという表現があります。文 字面だけを見ると、開隆堂の方がとても配慮されているとなっていて、それ 以外の2社は配慮されているととても配慮されているという記載があるにも 関わらず、調査結果が全て同じ○ということになった理由を教えてください ますか。</p>
研究員代表	<p>観点5の「公共の精神」について家庭科の授業でどういった場面で扱うか を考えたときに、例えば地域との交流とか、消費生活の場面とか、そういっ たことを扱う場面に関係することが多いと感じています。 調査報告書のコメントにもありますが、どの教科書も変わりなく同様に扱 っています。ただ、昨年も本市で九州大会をやった折に、ここに書いてある 主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うところにつ いて考えた授業をしました。子供達は、発達段階として、地域の問題や課題を どうやって見つけるか、という点においてはまだスタート地点にいるという</p>

<p>委員長</p>	<p>感じます。どの教科書も変わりなく扱っているということで、同じ調査結果○にしたところです。</p> <p>私の方から一つあります。表紙に、開隆堂は「自立し共に支え合う生活」、東京書籍は「自立と共生を生み出していく」という文章が記述されています。また開隆堂は、日本人以外の人や障害を持った人が掲載されています。教育図書は、男性がエプロンをしてフライパンを持っている絵が掲載されています。そういうものが、教科書には出てきていると考えてよいですか。そうすると、これは人権の観点に関わってくると思いますが、開隆堂は表紙に形として出ていますが、3社ともに多様な方々が主人公になるような形の記述が多いと理解してよいですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>言われたように、中を見ていくと、いろんな点で人権的な配慮がされています。家族と家庭生活の場面、高齢者の場面、それから文化の場面、そういったところでたくさん配慮が見られると思います。</p> <p>例えば東京書籍の表紙をめくってもらうと、表紙の中の子供達がいろんな活動をしているところがあって、そこから出ている糸が最後の頁につながっていて、さらに次の扉に、ステップに進んでいこうという形で描いてあります。人権も含めてですが、それ以外でもこういう配慮がなされていると考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと似ていますが、家族と住まいで3社とも、同じように部屋の間取りを考えるとというのがあったわけですが、相変わらず核家族で、お父さんとお母さんがいて子供2人という核家族をスタンダードにされていました。今シングルの家が相当数ありますが、授業は大変じゃないのかなど。自分の家族と引き合わせて考えると、これをスタンダードだと言われると、子供達の認識との違いが出てくると思います。どのように授業をされているのでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>家庭科の特性上、子供達の家庭背景は非常に気にしながら進めています。実際、私も今、3年生で授業をしています。授業の前に担任には、子供達の状況を聞いて、配慮するところはしっかり理解した上で授業を進めています。</p> <p>それから、今言われたように核家族が多いのは事実です。なので、時には模擬家族といったものをこちらから提示しながら、そこに合わせて授業をしています。その模擬家族に自分の家族を重ねながら、もしかしたらお父さんがおられないとか、お母さんがおられないというところもありますが、その中の家族のある1場面に重ねながら、授業を通して自分の生活を振り返っていく形で配慮しながらしているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>もう1点いいですか。朝食のところも、3社とも説明がありましたが、例えば東京書籍の31頁のところ、朝食を食べてこないお子さんがこんなにもいるとあります。中学生が具体的に行動していくことを育てていくわけで、東京書籍を見ると、どんな朝食を作ったらいいんだろうと思います。教育図書だったら76頁辺りに、こういうのもいいよみたいな朝食が出ています。子供達の実態を受けて、自分の生活を改善するために朝食にどんなものを簡単に作るかというヒントみたいなものが東京書籍には出てきていますか。</p>

研究員代表	<p>朝食ということに限らず、子供達はこの後、自分の1日の食事の献立を考えるという場面があります。朝食を抜いてきているという子供達も実際いますが、中学生の発達段階にはふさわしくないことも自分の課題だと捉えて、家庭とも連携し振り返りカードで家庭に返したりしながら、学んだことを家庭での献立作成に生かしたり、調理実習したりする形で実生活に生かすような学習をしているところです。</p>
委員長	<p>他にはご意見ありませんか。</p>
委員	<p>質問ですが、観点2の①、②、③が、比較すると全部○になっているということで、主体的・対話的で深い学びという学習指導要領の大きな要素が全部○であるにもかかわらず、観点1の学習指導要領に◎がついているということは、資質・能力の育成というところで考えたときには特に問題はなかったとの判断なのですか。切り離して主体的なとか、対話的なとか、深い学びと分散したことで、一個一個見るとそうだけど、総合して判断するとある程度の基準をクリアしていたから◎に変えたのでしょうか。そのあたりの観点1と観点2の①、②、③の関連性があれば教えていただければと思います。</p>
研究員代表	<p>観点1のところは、教科書全体を見て、子供達に身に付けてほしい、付けたい資質・能力がきちんと身に付くだろうという3年間を見通したストーリー性、そういったところでも見えています。全体のところは十分ということで◎にしています。</p> <p>それから、観点2の①、②、③に関しては、一つずつより詳しく、教科書のスタートや各題材の導入時の問いかけだったり、ICTによる対話的な学びだったり、それから深い学びに至るような問題解決型の学習の展開だったり、そういったところで詳しく見ていたところで、こういった形にさせてもらっています。</p>
研究記録員	<p>伝統文化のところですが、全て◎になっていますが、その中でも特に章・編の特徴があったら教えていただければと思います。</p>
委員	<p>伝統文化のところは、言われたとおりでどれもよく掲載してありました。例えば東京書籍は、日本の食文化と和食の調理、日本の文様調べ、二次元コードにつながるかと、それから持続可能な○○生活ということで、実生活につながるものが載っています。国際社会の発展に寄与するところも取り上げてありました。</p> <p>教育図書は、地域の食材を用いた和食の調理、二次元コードにつながるかと、それからエシカルファッションが取り上げてありました。</p> <p>開隆堂に関しても、ここも和食と洋食の部分や、地域の雑煮、手打ちうどんについて記載されています。食品ロスの観点で社会全体を考えたり、日本文化の関係するところを取り上げたり、グローバルな資料を取り上げたりというところがありました。そういったところで◎にしています。主な例としてはそういったところだったと思います。</p>
委員長	<p>何か、気になるところはありますか。</p>
委員	<p>今回、教科書の選定に当たっての調査のポイントの一つにいわゆる ICT がありますが、技術・家庭の家庭の分野では ICT の活用は結構多かったです。</p>

<p>研究員代表</p>	<p>のでしょうか。</p> <p>家庭科では非常によく使っています。実際どういうところでタブレットが入ったことでよかったかという、基礎技能を身に付けるために、何度も何度も繰り返し動画を見られる、コンテンツを見られるということもそうです。また、自分が作業しているところを二人一組で撮ってもらって、それを自分で見て、自分ができていないところや、よくできているところも自分で振り返りができます。そうやって身に付けられるということも非常にいいです。シミュレーションというのも随分入っていて、幼児の視線になってみようということ、ふだん私たちが見ているところではなく、下から見る家事とか視野の狭さとか、そういったシミュレーションもできるというところは、子供達がイメージをしながら授業に臨めるというところで、よく工夫してあるのではないかと。なので、家庭科にとってはすごくありがたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回はこの3社がありますが、二次元コードとか ICT に関する部分で活用しやすいなど何か特徴はありますか。もしあったら教えていただけますか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>どの教科書も、他教科とのリンクとか、特に東書、開隆堂は、小学校とのリンクという、学びを振り返るというリンクもよくしてあると思いました。それから、献立作成は、非常に現場の教員も、子供達も一緒に苦慮しながらやっているところです。東京書籍と教育図書は、とても秀逸なデジタルコンテンツが作られています。現場で指導する者にも子供達にとっても献立作成に関しては非常にいいなと思うところです。被服に関しては、柄の太さを変えたりとか、自分の顔の写真を撮って、そこに自分の顔を当てはめてカラーコーディネートしたりする二次元コードのコンテンツもできているので、非常に使いやすいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれに特徴があるというか、各社おおむね工夫がされているというふうなことでよろしいですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>はい。</p>
<p>委員長</p>	<p>家庭科は、先ほど研究員から報告があったように、熊本市の生徒は、「自分の生活をよりよくしたいという気持ちは強いがそれがまだ行動までなかなかいかない」ということから、今回、それを克服できるような教科書を選択したいということですが、保護者代表の委員、お子さんが家庭科を学ばれていて、ご家庭の生活に、「よい形で出ている。」もしくは「もう少しこのようなことを学校で学んだらよいのではないか」「このようなことが反映されたらよいのではないか」というご意見があったらお聞かせください。</p>
<p>委員</p>	<p>息子がいるのですが、家庭科を学んで、息子が例えば家で料理をしたりとか洗濯したりとか、そういうのを自分から進んでできるようにしていますが、それも学校の勉強になっていると思っています。質問ですが、教科書を3年間使うと思いますが、授業時間は足りるのでしょうか。それをお聞きしたいと思います。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>確かに非常に少ない授業時数であって、技術・家庭科で1年生70時間、2</p>

	<p>年生 70 時間、3 年生 35 時間で、家庭分野だけでいうとその半分です。なので、非常に少ないですが、全てを網羅して細かく教えるとか学ぶというわけではなくて、その中でも重要なというか、そういったところを取り上げながら学んでいるという流れになります。</p>
委員	<p>家で夏休みとかには作ってはくれますが、せっかく学校で学んできたことを家で実践できるのは、やっぱり保護者が作っていくしかないかなと思いました。</p>
委員長	<p>学校で教科書を使いながら、休み中に、学校で学んだことを実践するように促すような機会はありますか。</p>
研究員代表	<p>課題と実践という部分があって、食生活で学んだことを基に自分の生活を見つめて、改善点を探りながら夏休みにやってみたりします。そして変わったところを基にみんなで共有して、もっとよりよくできないかというアドバイスをし合う、そういった授業もあります。</p>
委員長	<p>そのような観点も入っているということですね。分かりました。 他にご意見はないですか。 それでは、調査のご報告ありがとうございました。 研究員の方はご退出をお願いします。 それでは、まとめをします。調査報告の内容は妥当であるということでしょうでしょうか。 これで、「技術・家庭科（家庭分野）」についての協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「地理」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《地理 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは質問及び協議に入ります。 ご意見はありませんか。</p>
委員	<p>私は、社会というのは資料がとても大事になると思いますが、二次元コードとか、資料の充実はどうかを少し教えていただけたらなと思います。</p>
研究員代表	<p>今ご指摘があった質問ですが、どの教科書会社も競って二次元コードをたくさん教科書の中に盛り込んでいます。その中で分析したことですが、各社、独自性を持たせています。教科書会社ごとですと、まず東書ですが、決められた頁、決まった場所に、二次元コードが必ずあり、開くと関係のある頁が整理されています。だから、子供達がこの頁のことを調べるにはここを開けばいいというのが非常に分かりやすく整理されています。さらに、二次元コードが補足的なものに加えて、発展的なものとバランスよく配置されているというのが東書の一つの特徴です。 教育出版社は、これも独自性があるって、編とか章の最初のところにまとめて</p>

	<p>「まなびリンク」というコーナーをつくってあり、そこに置いてあります。ただ、このまなびリンクは、あくまでも外部リンクが中心になっています。例えば国土交通省につながるとか、あるいは経済産業省につながる、あるいは国連につながると。かなり内容のレベルが高度です。なので、ここでは発展的な学習につながります。要するにもっと学びたい、学習したことをさらに高めていきたいという子供が活用するにはとても適しています。ただ、あまりにも外部リンクが多いために、補的な内容というのがほとんどありません。これが特徴です。</p> <p>帝国出版はすごく量が多い。学習の復習や確認のもの、あるいは外部リンク、中でもNHK for School などとつながり、かなり多岐にわたって非常に豊富です。ただ、あまりにも豊富な中から子供達を選ぶという課題も少しあります。多過ぎて、子供達がちょっと迷うかもしれません。</p> <p>日本文教出版ですが、これは節ごとにポートフォリオ、学習シートとか、言うならば、先生が板書して、子供達がノートに取って、まとめを書きなさいということについてノートを活用しなくていいように、ワークシートという形式でできます。なので、1時間の学習の子供達がノートを取る、あるいはまとめるというところを、この二次元コードで活用できるという、1時間の授業あたりの子供達の活用という点で優れていると思いました。ただし、外部リンクが非常に少なく偏りがあるというのが、日本文教出版の現状です。</p>
委員長	<p>二次元コードのコンテンツ数が出ている表がありますが、それを今、出していただきたいのですが。結局、各社数はかなり違うけれども、外部リンクが多いなど、それぞれ特色があるということですね。基本的には、どの出版社もこのような二次元コードは充実していると捉えてよろしいのでしょうか。</p>
研究員代表	はい。
委員長	<p>分かりました。 それでは、他に何かご意見はありませんか。</p>
委員	<p>先ほど、二つの観点について説明をいただいて、東京書籍と日本文教出版が、それぞれ二つとも◎ということでした。他の観点も見るときに、調査結果の頁でいくと、観点2の②の「対話的な学び」と観点7の「伝統文化、国際社会」のところ、東京書籍が◎となっているということで、そこについて何か、東京書籍の特筆すべき点がどういうところだったのかということについて何か具体的にあれば教えてほしいというのが一つです。</p> <p>もう1点は、観点8の「人権教育」のところ、社会科・地理の教科書で、どの教科書も人権的な部分については十分配慮がなされているという報告書の説明にもありますが、その中で教育出版が◎ということで、そのあたりを教えてもらえればと思います。</p>
研究員代表	<p>まず、最初の質問の「対話的な学び」で東書が◎ということですが、対話に関してはどの教科書会社も非常に工夫をされ、対話のアイコンをつくるとか、毎時間ごとの学びの中で表現して説明をすとか、説明しようというコーナーがつくってあり、対話に関しては遜色はありませんでした。ただ、なぜ一つだけ差がついたかという、東書は、節末の中で、みんなでチャレ</p>

	<p>ンジというコーナーがあります。ここでももちろん対話を持ってきますが、ここはグループで対話をして、そしてグループで出た意見を個人でもう一回練り直す。そして練り直した上で、またグループで話し合いを行う。そして、そこで、大体他の会社は終わっていますが、東書は、今度は地球的課題について、今度はもう一回ここにたどり着くための説明あるいは話し合いに昇華していく。そういった意味で対話がどんどん、グループの意見を基に個人、個人で練り直したものをさらにグループで共有する、そしてグループで共有したものを今度は個人の意見として、大きな地球的課題についてまた話し合い活動を行うという工夫があったので、これが一つの差となりました。</p> <p>人権はどの教科書会社も、民族であったり、宗教であったり、それに伴う生活文化について、もう全く遜色なく丁寧に取り上げてありました。ただ、教出だけがなぜ◎になったかという点、ある単元で横並び、帯で比べてみた箇所があります。それは、日本の諸地域の北海道地方のところで比べてみました。それは何かというと、アイヌ民族の話になります。他の教科書会社は、これまでのアイヌの人たちの伝統・文化、生活については一通り記述しています。写真を掲載するとか。ただ、教出でいうと、276頁と277頁です。ここは、アイヌの人たちのこれまでの伝統や文化を北海道を挙げて共有して、これからもしっかりとそれを生かして、そしてそれをみんなで学び、そして後世にしっかり残していくという考えの熱意が特設の頁、2頁に記述してあります。そういうところの違いから、教育出版を◎にしました。</p>
委員	<p>理解しました。あと、もしよろしければ観点7についても何かあれば。</p>
研究員代表	<p>観点7の「伝統文化、国際社会」です。この伝統文化を全部比べるところが、まず熊本県の関連資料でそれぞれ扱っています。東書は24、教出が32、帝国が29、日文が41と。熊本地震とか、くまモンとか城巡りの写真とか、郷土の写真資料等は等しくどこでも扱ってあります。さらに、領土関係、この領土も学習指導要領に則った範囲の中でしっかりと連携されています。</p> <p>そして、東北地方の単元の中で、伝統文化の維持と革新、日本の伝統文化についても、どの教科書もしっかりと記述されています。決め手になったのが、外国から見た日本の伝統文化というものが紹介してある特設の頁がありました。これは世界の諸地域の南アメリカ州のところで、外国から来た日本の伝統文化、あるいは外国で活躍する日本人というところで、国際社会の理解について述べられていました。外国から見た日本人の活躍とか、外国に日本の伝統文化を紹介するというのが特に東書に多く見られたので、ここを一つ◎という形で取り上げています。</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>観点2の③「深い学び」のところで、東書、日文、二つあるのですが、まとめのところで振り返るとか、そういうところで深めるというところが出ていると思いますが、それぞれこういう傾向があるとか、例えばこちらの方がより多面的な見方で振り返らせているとか、そういうものはあるのでしょうか。</p>
研究員代表	<p>二つの教科書会社を例に説明します。</p> <p>まず、教育出版ですが、オセアニアの一番最初の導入のところに、この教科書会社はいきなり単元を貫く問いというのが、これでいくよというふうな、</p>

	<p>ここにいきなり出てきます。なので、生徒は教科書を見て、これなんだ、この学習をするんだというような見通しと、興味の中で学んでいくという形です。</p> <p>もう一つは東京書籍を見てほしいと思います。東京書籍は、最初、これも導入のページですが、単元を貫く問いは全く出てきません。生徒の興味をひくような、意外性を引き出すようなこの写真。生徒はこのラグビーの選手たちを見て、ハカをしていると。中国とか台湾じゃないかなと思いつつ、実はオーストラリア、オセアニアだと。じゃ、どんなところだろうという興味がばーっと広がっていきます。ただ、興味だけではそういったものは出てきませんので、その興味を次のページで、自然、文化、生活というものにずっと特化して統括していきます。その中から、オセアニア州の学習、探究課題が単元を貫く問いにだんだん絞っていきます。なので、いきなりこの課題を学習するという出し方の教科書会社と子供の興味をどんどん喚起しながら、そしてワクワク感を高めながら理解性とかを感じさせながら、だんだん課題に向かっていくという出し方が大きく違います。この問いを子供達がどういうふうに追究していくかという手だての差が、単元末の振り返りのページで子供達の取組感であるとか、こういう目的を持って課題に取り組んでいくというところが違いとして出てきます。</p> <p>なので、まとめ方も、多面的・多角的にいろんな立場で考えさせることが可能になります。ただ、いきなりぽんと出てきたものに対しては、もう教科書が導くままに、追究課題に対して答えを出すという形になるので、その差がこの2社の◎と○の違いと私たちは捉えたところです。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p> <p>では、私から一つあります。「西九州新幹線のかもめ等の写真が載っている良い。」という生徒の意見がありましたが、そのような身近な、生徒たちの興味があるものを取り上げるという観点からの分析というのもやっているのでしょうか。</p>
研究員代表	<p>どの会社も、やっぱり熊本に関連したワードであるとか写真であるとかは盛り込んでいます。ただ、特に私たちが注目したのは、どの教科書会社も一緒に同じような取組で盛り込んでありますが、注目していただきたいのは教育出版の地域の在り方という単元が一番後ろにあります。278ページです。</p> <p>そこで、次に280ページを開けていただきたいのですが、地域の課題を生徒たちが気づき、それをまとめ、これを発信して、公共性というか社会参画の意欲を高めるという単元になるのですが、その例に水俣の取組を挙げてあります。これは全部で8ページにわたって、水俣の過去と取り組んだ後の現在の姿、そして環境保全、水俣の差別についてとか、あらゆるものを取り上げて、現在の水俣の様子を発信するという単元が、これが教育出版は8ページにわたってあると思います。ここがやっぱり特に力を入れているなというのがあったところです。</p>
委員長	<p>分かりました。</p> <p>他に何かありませんか。</p>
委員	<p>今、委員長から、熊本に関するということでご質問があったところですが、例えば自然災害というのは地理の中で勉強するのでしょうか。熊本の場合、</p>

<p>研究員代表</p>	<p>熊本地震、それから水害、いろいろな災害を身近に経験したところですが、例えば先ほどの調査結果の中においても、自然とか生命とか、そういったところに関わってくる部分なのかもしれません。自然災害という部分で、それぞれの教科書の分析をされていれば教えていただけたらと思います。</p> <p>自然災害ですが、どの教科書会社も日本の地域的特色という章の中に、日本の様々な自然災害という単元があります。その中で、自然災害に対する備えであるとか、防災について考えるという単元があります。教科書会社によっては、防災の視点から社会参画を子供達に考えさせるという頁もあります。どの社もありますが、特に代表的なものを申し上げますと帝国書院の150頁、151頁をご覧になられると、自然災害から命を守ろうと特設も併せて示してあります。そして、災害の危険性と防災情報の活用ということで、公助・共助という観点を盛り込んだ教科書会社もありますが、地域のイラストあるいはハザードマップから、もし自然災害が起こったときに自分たちに何ができるのかを考える、社会参画の視点に、随分力を入れていると分かりました。とにかく防災と社会参画の視点でしっかりと記述、あるいは特設の頁を作って、考えさせるようになっています。</p>
<p>委員</p>	<p>調査結果の中では全てのところに◎がついています。今の説明からすると、帝国書院については特に特色があるということですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そうです。あとはもうほとんどどの会社も同じように触れてあって、中には東日本大震災の津波の写真をリアルに載せてあるものもあり、新学習指導要領で、防災という観点を現代的な課題として取り上げなければいけないと明記してありますので、どの社もしっかりと取り上げてあるところでした。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にはご意見はありませんか。よろしいでしょうか。 調査の報告、ありがとうございました。 研究員の方はご退出をお願いします。 それでは、まとめをします。調査報告の内容は妥当であるということでしょうか。 これで、社会の地理的分野についての協議を終了します。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、「公民」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
<p>研究記録員</p>	<p>《公民 調査・研究結果の報告》</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
<p>副所長</p>	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
<p>研究員代表</p>	<p>それでは質問及び協議に入ります。 質問、意見があったらどうぞ出していただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>私の方から少しよいでしょうか。 観点2の①の「主体的な学び」のところのご説明で帝国だけが◎、そのときに平等権のところだったと思いますが、子供達が興味・関心を持って、制服は自分たちで自由に着たいと、選べるというご説明だったと思います。そ</p>

<p>研究員代表</p>	<p>れだけで、非常に帝国がよかったというご説明がなかったような気がしましたので、ここまではっきり出てくるのはなぜなのかと思って、説明をお願いします。</p> <p>どの教科書も検定を通過してここに来ているわけで、本当に素晴らしい内容だったと思いますが、その中でも特に帝国がよかったというところは、まず公民の社会科の教科書なので、子供達が自分たちの暮らし、生活とより身近な関係性を感じられる工夫があったということです。特に帝国書院で秀でていたのが、例えば先ほども紹介がありましたが、教科書の30頁、ちょうど第2部の政治のスタートのところにあたるところです。これから政治を学ぶ導入にあたる部分ですが、まず初めに、自分たちが住んでいるまち、暮らしの中で、特にこれから学ぶ内容に関わるものが隠れていないかを視覚的に探して関連性を見いだしていくというところなんです。これはどの章も同じです。この内容を学んだ後の章末で、再度またこの地図を振り返っていくという、導入から最後のまとめの関連性と導入の持っていく方は、子供達が公民分野を身近なものとして、これから学ぼうという意欲、主体性が高めることにつながるのではないかと。地図に強い帝国書院らしいところで、どこかに差をつけるということであれば、帝国書院がやはりそのあたり工夫が見られたということで◎をつけさせていただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に何かありますか。</p> <p>「深い学び」のところも帝国だけで、ご説明があったように、導入から最後のところまで非常に、生徒が自分の身近な生活の中から学んでいって深く考えていくことができると理解してよろしいでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員長</p>	<p>最後の「人権教育」のところ、教出だけが◎なのですが、これはやっぱり理由がありますか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>特に「人権教育」のところですが、他の教科書も優れているところがありました。特に教育出版に関しては熊本の話題、例えばハンセン病の問題、ユニバーサルデザインの視点の話題は、特に人権のところでもよく取り上げられていて、このあたりが教育出版は、熊本市の子供達が使うということを考えると、人権のところについては◎というところで差をつけさせてもらいました。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。あと、デジタルコンテンツのところの数が……</p>
<p>研究員代表</p>	<p>確か二つだけしかなかったと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>なかったということですね。あとは。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>あと4つがありました。このデジタルコンテンツのところは数の違いはありますが、その中身について補足があれば、指導主事の方からさせていただきますが、帝国書院がここは○です。中身が、ここだけがPDFになっていて、出したときに操作とか扱いに関してやや不便を感じる場面があるのではないかとということで、ここは○、あと最後二つはもう全くなかったのでもこも○</p>

委員長	<p>にしました。そういった違いをつけています。</p> <p>分かりました。 他に何かありませんか。</p>
委員	<p>まとめと振り返りとか、学習のまとめと表現というところが各社工夫されていますが、実際に授業の中で、このとおりにやっていかれるものなのでしょうか。まとめとか振り返りのところの扱い方とか、実際、学校ではこういうところが大事というところを教えていただければありがたいです。</p>
研究員代表	<p>今言われたまとめのところですが、発展的なところ、補充と発展というところにつながるのかと思います。これまで学んできた内容を最後にまとめて発展的にしていくということでは、通常のテスト、そういったものをイメージすることが多いです。教科書の中身を見ていたときに、本当に最後に基礎・基本をもう一回押さえて、それからこれまで学んできて足りなかったところを特に深く思考するためにまとめがある。そうすると、やはり実際使ってみようかなというところにつながるのではと思って、そういった使い方をするということかと思いました。</p>
研究記録員	<p>補足します。今、先生方の授業でも、めあて、対話、振り返りというところを重視して、毎時間いただいています。その中で振り返りの重要性というものは大分浸透してきて、振り返りをされる先生方も大変多くなっています。そういった中で、どういう振り返りをさせたらいいかというときに、ここに下にあるということは、先生方にとっては大変安心材料になるかと思っています。</p> <p>それから、章のまとめについては、やはりここにあるかないかで、授業でするかしないかが変わってくると思います。適切にあるということが、先生方にも子供達にも、知識の定着、それから知識を使っているんな立場から考えるということにつながっていくと思います。</p> <p>そして、最も重視したのは最終章ですが、最終章の学習は、当然3年生としては受験前の時期になります。ややもすれば、そちらの方が優先的になりがちですが、帝国書院の場合は毎章で、最終章に向かう手だて、もう準備が進んでいるので、おそらく子供達が調べて、最後までまとめたいという意見を出すのではないかと。そこをおさなりに学校の先生方もできないのではないかと考えた上で大変評価して、深い学び◎の一つの代表としています。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。他にはどうですか。</p>
委員	<p>先ほどの二次元のところ、東書は結構あったのですが、子供達の関心・意欲、期待を高める深い学びにつながるものとして利用しやすいというものはあったのでしょうか。</p>
研究員代表	<p>先ほど、地理でも多分説明があったと思いますが……</p>
委員	<p>そういった意味でも、かなり多い感じでしょうか。</p>
研究員代表	<p>そうですね。まとめのテストにつながったり、映像につながったりといったことで、バラエティーに富んだすばらしい内容でした。子供達も当然、夕</p>

委員	<p>タブレットを持っているので主体性につながります。</p> <p>いろいろ教えていただいてありがとうございます。見たときに何かすっきりしないと思うのが何かと考えたときに、主に説明があった二つの項目については帝国が◎でした。でも、全体を見るとどれも拮抗しているといったときに、そこだけを順列化して見るからそこが中心になるのかと思いました。さっきの二次元コードも、自分が勉強する立場だったら、そこに興味があり学びたいというときには、PDF でとまるよりもいろんな資料があった方が主体的な学びとかにもつながるんじゃないかと思いました。そうすると、そのポイントだけを見ての項目で考えていくときに、関連というところは考えなくてよかったのかと思ったわけです。丸の数だけで見ると、黄色い部分で選ぶのかなと。でも、数からいっても帝国が多いですが、ただ全体的なバランスからして、黄色い部分だけを見ていいのかなというのが何となく自分がすっきりしなかったので、発言させていただきました。</p>
研究員代表	<p>選んでいただくのは最後一つなので、我々も点数で拮抗している3社の教科書に関しては、本当にどこが優れているのか、どこがお勧めでないのかを出させていただきました。ただ、身近な写真などを見て選ぶならば、例えば教育出版とかになり、学習の流れなどトータル的に考えると、我々としては帝国をとということで差を出させていただいたところです。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。他にありませんか。</p> <p>では、調査の報告、ありがとうございました。</p> <p>研究員の方はご退出をお願いします。</p> <p>それでは、まとめをします。調査報告の内容は妥当であるということによりよろしいでしょうか。</p> <p>これで社会・公民的分野についての協議を終了します。</p>